

講習会 空力音・流体騒音のメカニズムと静粛化

第1技術委員会 丸田芳幸
中央大学

第1技術委員会では、講習会「空力音・流体騒音のメカニズムと静粛化」を開催しました。会場を中央大学の後楽園キャンパスにお借りして2018年10月22日に実施し、42名の方が受講致しました。

本講習会の企画趣旨は、流体音の基本メカニズムから予測方法、制御技術・低減技術までを、事例に基づいて解説し、静粛な機械製品の開発に役立てて頂くことです。騒音・振動を担当して3年間から約5年間になる中級技術者を対象受講者として、事例だけではなく、実験方法の解説に加えて、数値解析を利用する方法の紹介なども、講義しました。併せて技術相談会を開設し、受講者が実際の業務で悩んでいる技術的課題に関して、個別に解決へ向けてのアドバイス(公開または非公表)を行いました。講義中の様子が右の写真です。講習会終了後のアンケートによりますと、右図に示すように約9割の受講者が講義内容に満足しております。今回は下記内容の講習を実施致しました。

- I. 空力音・流体騒音のメカニズム
- II. 送風機騒音の静粛化
- III. 音響風洞と実験方法
- IV. 事例に基づく流体騒音の静粛化
- V. 空力音の制御における数値解析の利用
- VI. 空力音・流体騒音に関する技術相談

2019年も10月末に中級技術者向けの講習会として、「魅惑の製品音を奏でるサウンドデザイン」の開催を予定しております。関心をお持ちの方は、奮ってご参加ください。

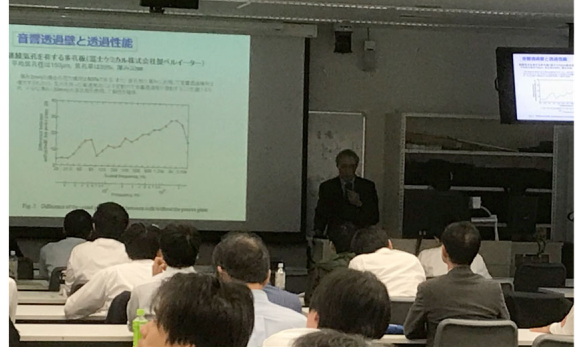


写真. 講習会の様子を会場後方から

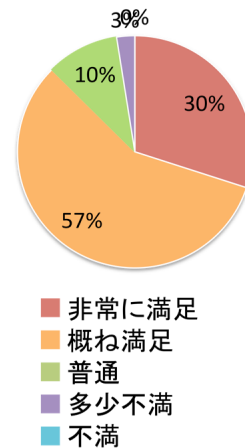


図. 講義内容の満足度 (アンケート結果)